

令和6年度 第2回 福知山市環境審議会 議事録

日時：令和6年11月5日（月）13時30分～17時00分

場所：福知山市環境パーク 2階 会議室

（委員）※敬称略

大脇 成義	京都府中丹西保健所 技術次長
入海 健一	一般社団法人 福知山医師会 理事
中尾 誠二	福知山公立大学 教授
的場 信敬	龍谷大学 教授
柳井津 佑健	福知山商工会議所 専務理事
衣川 浩行	福知山市商工会 事務局長
松原 斎樹	京都府地球温暖化防止活動推進センター センター長
土田 真奈見	福知山環境会議 副代表
平田 浩之	市民公募委員
森田 雅子	市民公募委員
菰田 伶菜	市民公募委員

（事務局）

西畑 信寿	産業政策部長
山田 信義	産業政策部次長兼エネルギー・環境戦略課長
足立 訓章	産業政策部エネルギー・環境戦略課 企画係長
梅田 健太	産業政策部エネルギー・環境戦略課 企画係 主査
飯田 将太	産業政策部エネルギー・環境戦略課 企画係 主事

（担当課）

大西 孝治	市民総務部長
四方 幸生	市民総務部生活環境課長
福原 亮	市民総務部生活環境課環境・廃棄物対策係 課長補佐兼係長
浪江 一平	市民総務部生活環境課環境・廃棄物対策係 専門官
辻原 健太郎	市民総務部生活環境課環境・廃棄物対策係 主査

（関係課）

谷口 和也	産業政策部農林業振興課畜産・有害鳥獣対策係 主事
-------	--------------------------

（オブザーバー）

株式会社オオバ

◇ 次 第 ◇

1 開会のあいさつ

2 報告事項

- ・ 福知山市一般廃棄物処理基本計画中間見直しに関する中間評価の概要報告
- ・ 福知山市エネルギー・環境基本計画（区域施策編）の進捗状況について
- ・ 地域脱炭素化促進事業における「促進区域」の設定について
- ・ 脱炭素プラットフォームの組成について
- ・ 特定外来生物クビアカツヤカミキリについて

3 その他

4 閉会

議事概要

○開 会

挨 拶 福知山市 産業政策部長 西畑信寿

○議 事

報告事項 福知山市一般廃棄物処理基本計画中間見直しに関する中間評価の概要報告

1 生活環境課より資料3にて説明、

2 委員からの意見、質問

- ・プラスチックごみの量はかなり多く、事業者とも協力しないと減っていかないし、リサイクルもなかなか進まないで、そのあたり気になっているので、取組を期待する。
- ・再資源化の中で草と剪定枝の伸びがすごい。これはバイオマスの関係で伸びがあるということで、再資源化に期待ができる。
- ・事業ごみ排出量が目標達成となっているが、もし目標達成した要因として、事業者が発信できることやお願いすることがあれば、共有をお願いしたい。
- ・有害鳥獣処理施設に関して、年間4205頭の処理能力に対して倍以上の実績が続いている。耐用年数より早くメンテナンスを行っているとあるが、どのくらいはやめているかなど数値的に心配である。後日でもよいので、そのあたり教えてほしい。
- ・市民啓発が非常に重要であり、「まとめて出せるようになったらいいや」とならないような広め方が必要になる。
- ・有害鳥獣の部分で、食肉として扱うことが検討できないか。様々な条件もあると思うので、非常に難しいとは思いますが、今後検討してほしい内容である。
- ・普通の流通経済だとどんどんゴミが出てきてしまうが、個人の普及啓発だけでなく、量り売りなど手間になるけれど、何か打ち出せるものがあればよいのではないか。

報告事項 福知山市エネルギー・環境基本計画（区域施策編）の進捗状況について

1 エネルギー・環境戦略課より資料5にて説明

2 委員からの意見、質問

- ・ソーラーカーポート、ZEHは成果指標の捕捉方法を今後検討すべき。
- ・リフォーム、断熱改修等にも目を向けて、そういったところも盛り上がるとよいと思う。
- ・数値に関する要因等があれば資料に反映してはどうか。数値だけよりもわかりやすい。
- ・森林整備面積の減少について、課題として、高齢化やキャパの減少とあるが、具体的な

対策の検討が必要である。例えば、森林について住民に知ってほしいや森林に実際に足を踏み入れて案内したいという自伐型林業者の声があり、森林に学生が来るという機会があってもよいのではないかと感じる。

- ・電気自動車の導入について、価格という課題があると同時に、そもそも充電施設が少ない中で、普及が難しい環境であるため、ハード面の整備も必要である。

報告事項 地域脱炭素化促進事業における「促進区域」の設定について

1 エネルギー・環境戦略課より資料6により説明

2 委員からの意見、質問

- ・エリア設定に個別の住宅の屋根のような方法はあるのか。あるとしたらペロブスカイトの導入もしやすくなるのではないかと感じる。東京では新築住宅の屋根には設置義務みたいな話もあるので、検討項目になるのではと感じる。

- ・長野県では、自分の家をクリックすると何kWというふうにポテンシャルがわかるものを全県でわかるようになっていて、そういうものがあるとわかりやすい。京都府レベルで考える内容ではあるが、参考情報として共有します。

- ・エネルギーの地産地消に事業者も協力できるような啓発をお願いしたい。

- ・事業所の中には再エネ導入を視野に入れているところもあるが、どのくらいのコストがかかるかなど何か示すことができる資料があれば、共有できるので、検討いただきたい。

報告事項 脱炭素プラットフォームの組成について

1 エネルギー・環境戦略課より資料7により説明

2 委員からの意見、質問

- ・そもそも運営をどのようにしていくのか、そこがしっかりしていないと組織として破綻してしまうので、そこをしっかりと検討していく必要がある。地域貢献やSDGs活動の一環として参加する企業が多いと想定されるが、計画の推進の責任があると入るハードルがあり、分科会ごとの温度差が懸念される。

- ・福知山環境会議が解散して次の組織にということで話が進んでいるが、福知山環境会議への説明がない。今の状態では、福知山環境会議からは参加しなくてもいいのかと感じる。全体のスケジュール感が福知山環境会議に伝わっていないし、知らない間にいろいろ決まってしまう。この点は大きな課題である。

- ・最終的には今の構想で固まるかもしれないが、そこまでのプロセスが感情的に重要で、意見を聞いた結果こういう形になりますという描き方で課題は解決されるものである。

- ・マンパワーと予算措置はかなり必要になる内容かと感じる。

・すぐに取り組めるもので「バイオマス発電」とあるが、上下水道部でする下水汚泥の利用を入れたほうがよいかもしれない。

報告事項 特定外来生物クビアカツヤカミキリについて

1 エネルギー・環境戦略課より資料8により説明

2 委員からの意見、質問

・京都府も福知山市と連携を取って対応を進めていると聞いているので、引き続き対応をお願いしたい。

○その他

エネルギー・環境戦略課より次回開催予定と本日の報告事項の中で回答しきれなかったものの対応について

○閉 会

挨 拶 福知山市産業政策部次長兼エネルギー・環境戦略課 山田信義